

即ち、人間教育科目（A群）、人間力育成科目（B群）、一般基礎科目（C群）、言語文化科目（D群）、情報関連科目（E群）、体育関連科目（F群）、教職関連科目（G群）です。特に人間教育科目（A群）は、前述の趣旨に沿って「I 暮らしの探究」、「II 育ちの探究」、「III 自立の探究」、「IV 人間の探究」、「V 社会の探究」、「VI 自然の探究」、「VII 自主講座」、「VIII キャリア形成支援講座」の8つの区分に分けられ、「VIIIを除きそれぞれ幾つかの「講座」が設けられ、一定の条件で選択・履修することができます。

人間力育成科目（B群）は人間教育科目（A群）と専門知識とを結びつける科目群として位置づけられ、教養教育から専門科目へと発展・融合するための科目として用意されています。

一般基礎科目（C群）は從来の資格関連科目が多くあります。それ以外の科目は概ねその名称が意味する内容を持つています。

言語文化科目（D群）では社会で活躍するためには英語力が必須であるとの考え方から、クラスを少人数にして、更に、習熟度別にして学生個々の能力を向上させることとしました。更にアジアの国の言語であるコリア語、中国語を選択科目として取り入れました。

「VII自主講座」、「VIIIキャリア形成支援講座」は社会対応型の幅広い知識・経験および卒業後のキャリアをサポートするための基本的知識を涵養するための内容を取り入れています。

このようにして21世紀型社会に対応できるよう、この新しいカリキュラムは生活信条である「愛情・勤勉・聰明」を育み、本学の

教育委員会と学校の関係

教職を目指している学生の皆さん、すでに学習済みのことでしょうが、教育委員会は、学校教育法や教育基本法等の法的根拠に基

建学の精神である「自主自力」をより確実に実践できる女性の育成を目指しています。社会の激しい変化・多様性を見ながら、更により高度な教育を目指して全学共通教育科目の内容を充実していかなければなりません。

先輩から後輩へ

若き乙女たちへ 失敗を恐れず、夢を語れる人になれ!

委員会
課副課長
兼指導主事
水庭 桂子さん
(昭和54年度卒業)



と称して、総ての教員の授業を参観し、1時間の教えるべき学習内容が明確に記された学習指導案が作成され、「わかる授業」が行われるか、児童生徒は活き活きと学習しているかなど直接指導しています。更に、児童生徒の学力を向上させるためには、何よりも基本的な生活習慣を身に付けさせることが肝心です。

そこで、熊谷市では全市を挙げて「熊谷市の子どもたちは、これができます!」

生朝ごはんをしつかり食べる

ところはとてもすばらしいことがあります。次によいことは、努力をして、練習をして負けないことである。そして、次に努力や練習もせず負けることである。一番悪いことは、努力や練習もしない

ことで、勝つことである」という言葉を残しています。

失敗を恐れず、勇気をもつてチャレンジし、夢を語れる人になつて欲しいと思います。

この受賞は、生徒や教職員、地域の協力者、保護者の皆様をはじめ、本学園に関わる多くの方々の意識と行動が学園の自然を守り育てている結果です。

銀賞を受賞しました。

この受賞は、生徒や教職員、地域の協力者、保護者の皆様をはじめ、本学園に

関わる多くの方々の意識と行動が学園の自然を守り育てている結果です。

銀賞を受賞しました。

大学17号館 建築工事着工



施設概要は、地下1階・地上4階、鉄骨造り・一部鉄筋コンクリート造りで、実験実習室等の不足を、将来にわたって柔軟に対応できる利用度及びフレキシブル性の高いスペース設計をコンセプトとしています。

高低差のある立地条件を活かし、1階だけではなく地階からもアプローチでき、講義室・研究室・実習室などは、中廊下型基準階平面の中にコンパクトに配置することで、無駄を無くすと共に、各室の居住性と利便性を高める配置計画です。

南面には区の施設としてテニスコートがあり、騒音対策として壁面で構成しています。西面窓には西日対策と共に外観に変化をつけ、この協定は、地震その他の大規模災害が発生した場合に、北区と大学が相互に連携して、地域住民、学生・教職員等の安全確保を図るため、両者の協力体制について必要な事項を定めています。

北区役所において、北区と「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。本学は、2月17日(水)、「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。

平成21年度各学校の 学位授与式

修了式

「コースファイアル」

第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」への協賛に対する感謝状贈呈される

来場者は史上最多

あらゆる世代の人達が、学ぶ楽しさや大きさを感じ、学ぶきっかけづくりを提供する全国規模のイベント、第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」が平成21年10月30日(金)～11月3日(火・祝)の5日間埼玉スパークアリーナ等で開催されました。

メイン会場には42万人、埼玉県全域ではまなびピア史上最多となる224万人の来場者があり、本学も地域連携協力推進センター・生涯学習センター・ヒューマンライフ支援センター・生活科学研究所・人間文化研究所が生涯学習に関する取り組みを展示・紹介しました。これに対し、後日、実行

現在フリージャーナリストで、元NHK「週刊こどもニュース」のおとうさんもニュースのおとうさん

池上彰氏講演会

大盛況に終わる

大学10号館(図書館・情報センター)の西側に、平成22年度後期完成(10月17号館の新築工事が進められています。

日使用開始)を目指して、17号館の新築工事が進められています。

大学10号館(図書館・情報センター)の西側に、平成22年度後期完成(10月17号館の新築工事が進められています)を目指して、17号館の新築工事が進められています。

委員会会長である上田埼玉県知事から本学に対し、感謝状が授与されました。

この催しは、全国規模の参加体験型のイベントで、平成元年から始まり、各県持ち回りで毎年行われ、平成21年には埼玉県での開催となりました。

愛称の「まなびピア」は、生涯学習の「学び」とユーティピア(utopia・理想郷)の「ピア」を掛け合わせた造語の名称です。

2月3日(水)幼稚園を卒園した中学生が、在園児の前で、見事なジャグリングを披露してくれました。

ジャグリング(juggling)玉や輪などを巧みに投げたり受けたりする芸芸。

1年生(15名)・2年生(20名)

高校

高等学校

1年生(15名)・2年生(20名)

高校

高等学校</p